

# 令和7年度 就労支援部会 総合交流会 活動報告

令和8年1月21日



# 交流会の目的

1. 支援の質の向上
2. 就労支援事業所間のネットワーク構築と情報交換
3. 障がい者の余暇活動につながるニュースポーツの体験





# モルック体験



## ◆モルック体験の感想

- グループワークの前にモルックをしたことで、気持ちがリラックスし、初対面でも対話がしやすかったです。
- モルック楽しかったです。ぜひ弊社の利用者様のイベントに取り入れたいと思います。ありがとうございました。

# グループワーク

## 3つのテーマを設定(事例・意見)



### テーマ① 「うまくいった支援」ってどんなとき？

- ✓ 支援員の意図が利用者に上手く伝わらず困ったことがある。利用者が理解しやすい話し方、支援グッズ等を知りたい。
- ✓ 「うまくいく支援」の結果はどこだと思いますか？一般就労に結ぶこと？A型に居続けること？

### テーマ② 「働きたい」を支える地域づくりとは？

- ✓ 利用者さんの「働きたい」という気持ちに日々向き合う中で、企業や地域の障害理解の重要性を感じています。一方で現場レベルでは「何ができるのか」「どこまで関われるのか」と悩むこともあります。皆さんの実践や視点を共有していただけたら嬉しいです。

### テーマ③ 「働きたい」に寄り添う支援とは？

- ✓ 働く意欲は人一倍強いが、作業量や仕上がりのムラが出てしまう自己評価が高くてプライドも高いタイプの利用者に対しての働きかけに悩んでいる。
- ✓ 「働きたい」という本人の意欲に寄り添う一方で、体調や生活面、スキル面などの就労準備性との間にギャップがある場合、どのような支援が望ましいのかについて考えたい。

# 参加者アンケート 回答34名

## 1. 交流会の満足度

非常に満足：21名 満足：11名 普通：2名

## 2. 内容は理解しやすかったか

はい：32名 どちらでもない：1名 無回答：1名

## 3. 他事業所の方々との交流や意見交換は有意義だったか

はい：32名 いいえ：1名 無回答：1名

# 今回の交流会で 特に印象に残ったこと、学んだこと

1. それぞれの事業所で似たような悩みを持っていることを知り励みになった
2. 支援の方向性は事業所のカラーが出るが、それぞれの立場で考えられており、気持ちは皆さん同じで利用者の方に良い支援をしたいと言う気持ちが伝わってきた。
3. 同じ悩みや課題を抱えている仲間がいることを知れることは勇気になりますし、今後も継続して参加させていただきたいと思います。
4. 働きたいに寄り添う支援の仕方では、達成できそうな目標を細かく設定したり、作業に区切りをつけ気分転換を図るなど、各事業所工夫されて勉強になりました。
5. 休みがちだった利用者さんが作業場を変えたことで休まず来られるようになった話。
6. 関係性の構築、共有の大事さ、固定概念を持つてはだめだな(できないと思ったけど休まず通所するようになった)、教える・教えられるではなく、フラットな関係を築く

# 次回の交流会に 期待することや、改善点

1. 障害者雇用に関する様々な企業、自治体、組織の今現在における取り組みとその影響や今後の社会に対して障害者雇用がどのようなインパクトを与えていけるのかについてお話をお聞きしてみたいです。
2. 来年も同じような形で開催していただけると嬉しいです。
3. 今後も継続して、横の繋がりが広がる集まりの開催を期待します。
4. 今回、課題内容と違う話題がでましたが、これも参考となるところがあり限られた時間であった為、もう少し話を伺いたかった
5. 本日来れなかった職員にもぜひ参加してもらいたいと思います
6. もう少し参加者が多い方が望ましいと思うので参加者を増やす取り組みが必要
7. ハローワークの人だけでなく企業や自治体の方々とも話を聞いてみたいです。
8. 自己紹介等の時間を最初に設けてモルック体験に移ればチーム内の雰囲気もより良くなったかと感じました。

# その他の意見や感想

1. ぜひまた参加したいです！
2. このようなネットワークを形成する場が貴重だと思います
3. 定期的に他の施設の方と話せるのは刺激になっていいと思います。
4. 今まで参加したことのない支援員の方を積極的に参加してもらえそうな取り組みも良いと思います。
5. 会場や時期を固定化していけると良い
6. 自己紹介等の時間を最初に設けてモルック体験に移ればチーム内の雰囲気もより良くなったかと感じました。